

専攻言語ドイツ語 新入生履修ガイダンス

2025年4月1日（火）

ドイツ語教室

<http://www.tufs.ac.jp/common/fs/ea1/ger/>

1. 「ドイツ語教室」とスタッフ

言語文化学部 地域コース

藤縄 康弘 (ドイツ語学)

山口 裕之 (ドイツ文学・文化・思想, 表象文化論)

西岡 あかね (ドイツ文学, 比較文学)

1. 「ドイツ語教室」とスタッフ

国際社会学部 地域社会研究コース

千葉 敏之 ドイツ・ヨーロッパ中世史

国際社会学部 現代世界論コース

小野寺 拓也 ドイツ現代社会論, ナチズム論

世界言語社会教育センター

クリストフ・ヘンドリクス 外国語教育/ドイツ語

エヴァ・ビリック 外国語教育/ドイツ語

非常勤講師（ドイツ語 I 担当）

櫻井 麻美（月 3） 津山 拓也（火 2）

村瀬 民子（月 3） 岡本 雅克（木 3）

ジャネット・葛西（Jeannette KASAI）

ヴィーラント・アインス（Wieland EINS）

シュテファン・メルテンス（Stephan MERTENS）

教務補佐：池田 裕行 木曜日 10:00～12:30 14:30～17:00

オフィスアワー（教員個別相談）

山口，西岡，千葉，小野寺，ヘンドリクス，ビリック

- ▶ 事前にメールで連絡し，面談時間を設定する。
 - ▶ メールアドレスは大学ウェブサイトの[研究者一覧](#)で検索

藤縄

- ▶ 月・木12:00-12:30 [藤縄先生のHP](#) で最新のスケジュールを確認すること。

※ オフィスは全員研究講義棟の6階

ドイツ語教室からのお知らせは

▶ 掲示板

研究講義棟6階	644号室（ドイツ語共同演習室）	前
同	624号室（ドイツ語教育準備室）	前

ドイツ語教室HPを多用するので、定期的に見に行くこと。

<http://www.tufs.ac.jp/common/fs/ea1/ger/>

各種届出に教員の印鑑が必要なときは

第1～2年次のあいだは以下の教員へ

言語文化学部 of 学生

⇒ 専攻言語ドイツ語代表教員 西岡あかね

国際社会学部 of 学生

⇒ 中央ヨーロッパ地域代表教員 篠原琢（チェコ語）

※ 指導教員が決まったら指導教員に頼むこと

2. 言語科目の履修：言語文化学部

授業科目名		履修年次	必修	選択必修
専攻言語科目	ドイツ語Ⅰ	第1年次	10単位	言語文化 ドイツ語 <

言語文化学部は
ドイツ語Ⅲも必修

2. 言語科目の履修：国際社会学部

授業科目名		履修年次	必修	選択必修
専攻言語科目	ドイツ語Ⅰ	第1年次	10単位	国際社 ドイツ語 はないか として 10単位
	ドイツ語Ⅱ	第2年次	10単位	
	ドイツ語Ⅲ	第3～4年次	-	
諸地域言語科目		第1～4年次	-	
GLIP英語科目		第1～4年次	6単位	
教養外国語科目		第1～4年次		
卒業所要単位数			36	

国際社会学部は
ドイツ語Ⅲは必修で
はないが、選択必修
として履修可能

要点は

- ▶ 両学部とも
 - ▶ ドイツ語I・IIはまったく同じ。20単位必修
 - ▶ GLIP英語科目または教養外国語（ひとつの言語で）6単位必修
 - ▶ ドイツ語を卒業までに28単位以上，修得することもできる
 - ▶ 卒業所要単位数を超えて単位を修得した場合，超過分は「関連科目」にできる
- ▶ 両学部で必要総単位数や言語選択の自由度が多少異なる

要点は

- ▶ 教養外国語は仏，伊，西，葡，露，中，朝，アラビア語から選べる。
- ▶ 各言語につき〇〇語Aと〇〇語Bの2種類ある。
- ▶ 履修する場合はAを4単位修得後，Bを2単位修得するのが原則。その他，各言語担当教員の指示に従うこと。
- ▶ ポーランド語やチェコ語は諸地域言語科目で開講されている（ただし，第1年次での履修はお勧めしない）

3. 専攻言語（ドイツ語Ⅰ・Ⅱ）の履修上の注意

		日本人教員 (2クラス編成)			ネイティブ教員 (4クラス編成)	
		コマ1	コマ2	コマ3	コマ4	コマ5
ドイツ語Ⅰ	春学期	文法		読解・聴解	会話	
	秋学期					
ドイツ語Ⅱ	春学期	文法	文法	講読	会話	会話
	秋学期	作文	聴解	講読	会話	会話

3. 専攻言語（ドイツ語Ⅰ・Ⅱ）の履修上の注意

- ▶ 第1～2年次のドイツ語は週5コマの授業（[👉資料①](#)）
- ▶ 2クラス（A, B）に分かれて行う授業と4クラス（C, D, E, F）に分かれて行う授業がある（[👉資料②](#)）
- ▶ レベルは、英語にたとえて大雑把に言うなら、ドイツ語Ⅰが中学校、Ⅱが高校のレベル
- ▶ ドイツ語Ⅰは週5コマ×2学期が学年末に一括して10単位認定される
- ▶ ドイツ語Ⅱは各学期末、コマごとに1単位ずつ認定される

3. 専攻言語（ドイツ語Ⅰ・Ⅱ）の履修上の注意

- ▶ ドイツ語Ⅰ・Ⅱについては15単位で（＝必修20単位すべてが揃っていないなくても）進級は可能．．
．．ではあるが、第2年次のうちに20単位を修得しておくことを強く勧める。
- ▶ なお、ドイツ語Ⅰを取り損ねた場合、事実上、2年間で3年生に進級することができなくなる。

第3年次への進級要件：言語文化学部

専攻言語（ドイツ語Ⅰ・Ⅱ）	15単位	／	20単位必修
地域基礎	6単位	／	6単位必修
基礎リテラシー	1単位	／	1単位必修
基礎演習	2単位	／	2単位必修
教養科目	－	／	12単位必修
導入科目	6単位	／	6単位必修

第3年次への進級要件：国際社会学部

専攻言語（ドイツ語Ⅰ・Ⅱ）	15単位	／	20単位必修
地域基礎	6単位	／	6単位必修
基礎リテラシー	1単位	／	1単位必修
基礎演習	2単位	／	2単位必修
教養科目	－	／	16単位必修
導入科目	8単位	／	8単位必修

4. 履修・登録について

【重要！】学務情報システム

- ▶ 履修登録，教員とのメッセージやりとり，成績の確認など
- ▶ 後で導入動画を見てください。

<https://www.youtube.com/watch?v=Qp3xQHRIvf8&feature=youtu.be>

※ 大学の利用者アカウント（ユーザー名）とパスワードが必要

【重要！】 MOE(Moodle for Open Education)



▶ 授業の資料配布, レポート提出などに利用
後で導入動画を見てください（動画はMoodleの
説明ですが、MOEもシステムはほぼ同じです）

<https://www.youtube.com/watch?v=vv7FhgmlBW4&feature=youtu.be>

※ 大学の利用者アカウント（ユーザー名）とパスワードが必要

■ 履修登録手続き等 ■

- ▶ 『履修案内』は卒業まで有効。大切に保管し，必要に応じて記載内容を確認すること
- ▶ 履修登録期間 4月3日（木）～14日（月）
- ▶ 履修相談コーナー 4月8（火）・9（水） 11:00～12:30
@本部管理棟大会議室
- ▶ 履修登録修正期間 4月15日（火）～ 21日（月）
- ▶ 履修中止期間 5月8日（木）～ 9日（金）
＜GPAのためにも、履修を取りやめた場合には、この手続きを忘れないようにしてください＞

履修全般について

- ▶ 大学ウェブサイトの動画オリエンテーションを見て正しく理解しましょう。

http://www.tufs.ac.jp/student/lesson_course/onlineclasses.html#e

- ▶ 不確かな点は繰り返し履修案内で確認しましょう。

言語文化学部

<http://www.tufs.ac.jp/education/lc/outline/example/>

国際社会学部

<http://www.tufs.ac.jp/education/ia/outline/example/>

対面授業・オンライン授業の両方が行われます

- ▶ 多くの授業が対面形式に戻っていますが、受講人数の多い授業（導入科目など）を中心に、一部オンライン授業があります（**全体の1割程度**）。
- ▶ オンライン授業には、①同期型（ズームによる中継）、②非同期型（オンデマンド式）の二種類があります。
- ▶ **それぞれの授業の「授業開講形態」について、シラバスでかならず確認しておきましょう。**

シラバスの「授業開講形態」欄

2021 年度 世界教養プログラム					
地域言語A(ドイツ語 I)					
■ ■ 時間割コード					
100302					
■ ■ 担当教員 (ローマ字表記)					
津山 拓也, 成田 節 [TSUYAMA Takuya, NARITA Takashi]					
■ ■ 授業開講形態	■ ■ 授業形態	■ ■ 単位数	■ ■ 学期	■ ■ 曜日・時限	■ ■ 実務経験のある教員による授業
対面			通年	火3	-

地域基礎について

- ▶ 3年次への進級のために **6単位（3コマ）** を必ず取得しなくてはならない。
- ▶ **6単位（3コマ）** のうち **4単位（2コマ）** はドイツ語教員が開講している科目から履修。のこりの**2単位（1コマ）** はドイツ語教員が開講している科目、もしくはチェコ語・ポーランド語教員が開講している科目から履修すること。

資料① 時間割（ドイツ語 I , 地域基礎）

	月	火	水	木	金
1					
2		【コマ3】 ドイツ語 I（読解・聴解） A: 津山 B: 西岡	地域基礎 春学期 千葉（中世） 春学期 小野寺（近現代） 秋学期 山口（文化）	1年春はこちらを 2年春はこちらを	
3	【コマ1】 ドイツ語 I（文法） A: 村瀬 B: 櫻井	【コマ4】 ドイツ語 I（会話） C: Hendricks D: Bilik E: Kasai F: Eins	1年秋はこちらを	【コマ2】 ドイツ語 I（文法） A: 藤縄 B: 岡本	【コマ5】 ドイツ語 I（会話） C: Kasai D: Mertens E: Hendricks F: Bilik

■ ドイツ語教員免許 ■

- ▶ 専攻言語ドイツ語の学生は（言語文化学部・国際社会学部の別に関わらず）、中学校・高等学校でドイツ語を教えるための免許を取得することが可能。
- ▶ 他教科も含めた教職課程の詳細は『教職課程ガイド』を参照のこと。
- ▶ ドイツ語教職課程の履修について質問・相談があれば藤縄まで。

ドイツ語既修者の振替履修について

すでにドイツ語を学んだことのある学生は、ドイツ語Iの授業をドイツ語IIの授業に振り替えて履修することができます。

振替履修を行う際には、振替を行う授業の登録をオンライン上では行わず、教務課に「地域言語・専攻言語科目振替履修願」を提出します（今年度はメールで対応）。

書式のダウンロード、教務課のメールアドレスその他、詳しい手続きについては、教務課からの案内を見てください。

http://www.tufs.ac.jp/student/NEWS/education/230403_1.html

授業のレベルや選択の仕方などは西岡が相談窓口になります。 a-nishioka[アットマーク]tufs.ac.jp

5. 教科書について

- ▶ 教科書は、指定したものを生協が販売します。
- ▶ 販売箇所：大学会館2階 大集会室
- ▶ 生協法の規定により、加入しないと書籍の割引が受けられません。
- ▶ 〔加入手続きなどについては、生協HPを参照〕
<https://www.univcoop.jp/tufs/index.html>

6. ドイツ語圏への留学

- ▶ 本学の留学制度には、選抜を伴う「派遣留学」と選抜のない「休学留学」、および「ショートビジット」がある。
- ▶ 派遣留学は登録手続きなどを大学がサポートするが、休学留学はすべて自分で手配する。
- ▶ 派遣留学と休学留学は原則として3年次以降。
- ▶ 制度の詳細は大学ホームページ「留学」を参照
URL: <http://www.tufs.ac.jp/studyabroad/>
- ▶ ドイツ語圏への留学説明会（案内はドイツ語教室HPに出る）

7. 学生生活で困ったら

- ▶ たふさぽ 学習相談（HP上から予約）履修の仕方、オンライン授業の進め方／モチベーションの保ち方、ゼミ選択、留学計画や進路、卒論について...etc

<http://www.tufs.ac.jp/institutions/facility/tufssupport/>

- ▶ たふさぽ・おしゃべり会
- ▶ 学習相談デスク（@図書館 12～19時） レポート・論文の書き方、語学の勉強法など<http://www.tufs.ac.jp/blog/is/g/sodan/>

- ▶ 学生相談室

<http://www.tufs.ac.jp/institutions/facility/sccs/>

8. オリエンテーション合宿について

- ▶ 日時：4月26日（土）12時30分～27日（日）12時ごろ
- ▶ 場所：大学セミナーハウス
- ▶ 内容：教員からのガイダンス、学生からのガイダンス（外語祭、学生生活の過ごし方、勉強の仕方etc）、バーベキュー、懇親会、ビンゴ大会など。
- ▶ 詳細は、本日配布のパンフレットを参照してください。
- ▶ 申し込み：4月15日（火）まで。